

第1回未来づくりESDセミナーを開催

6月4日(土)、宮城教育大学において、持続発展教育を進めるために、大震災後の学校づくりを考える標記セミナー「震災復興と学校・地域の未来づくり」を開催した。3月11日の東日本大震災によって、東北、宮城は著しい被害を受け、たくさんの人命が奪われた。宮城県の沿岸地域は、津波で地域社会、漁場、農地が壊滅的被害を受け、地域社会の拠点である学校も大きな被害を受け、校舎が使えなくなったところもある。しかし、3ヶ月あまりが経ち、学校の先生方、地域の人々、行政の努力、全国からの支援によって、ようやく子供たちが落ち着き始めている。今回、気仙沼市教育委員会・副参事 及川幸彦氏、石巻市立雄勝中学校・校長 佐藤淳一氏、仙台市立荒浜小学校・校長 川村孝男氏、亘理町長瀬小学校・教頭 渡辺清孝氏の4名を、現地報告、パネラーとしてお迎えし、被災の状況や子供たちの変化を報告していただいた。当日、約400名の出席があり、本会場と予備の会場がほぼ満員状態となり、東日本大震災・被災校への1人1人の強い思いが感じられた。本学として、今後、未来づくりセミナーを定期的で開催し、刻々と変化する被災地からの要請と、本日まで参加いただいた全国教員養成系大学と協力しながら支援体制の在り方を、全国に発信していく予定である。

